

出会いからはじまる少子化対策

少子化対策について尋ねる



坂巻 文夫 議員



議員 近隣市町村との連携はこれまで実施していないということだが、これからは広げていくのが非常に大事であり、限られた中で行うよりもいいと思う。また、これまで以上にやりやすい状況をつくるためにも、財源を増額した方がいいと思うが予算要求は考えているのか。予算は要求するべきで、サポーターがやりやすい状況を職員が進めていかなければならないと思う。また、県とのつなぎはあったのか、ないのか伺いたい。

副市長

出会いの場の提供と結婚相談という大切な任務を担っている、茨城マリッジサポートセンターなどのコネクションを活用しながら、ふれあいサポーターがより活動しやすいように、いろいろな団体や他市町村間とも連携を図り、具体的にスピード感を持って進めたい。

議員

常総市に住めば、結婚できる、そういう考えのもとに頑張っていたきたい。

市民生活部長

この事業は、ふれあいサポーター連絡会が事業主体となり実施している。サポーターは現在15人、市長より委嘱を受け、未婚の男女の出会いの機会の提供や支援、相談を行うことを目的

議員

ふれあいサポーター事業において、サポーターの方々は非常に頑張っている。このような状況の中で、今議会でも補正予算に計上されているが、このふれあいサポーターの役割を伺いたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

市役所はブラック企業!?

働き方改革について



小林 剛 議員



しているとところもあるようだが、休日勤務の振替などが90日ほど消化できない職員がいると聞いている。時間外勤務について、市の現状はどうか。

総務部長

時間外勤務は、職員より申請され、所属長の決裁を経たものは、すべて支給している。また規則では、休日・祝日に半日、あるいは1日出勤した場合には振替・代休による対応をしている。振替は、勤務命令の4週間前から8週間後の間、代休は8週間後に取得するよう定められている。部署間でばらつきがあり取得できないことも事実だが、ブラック性はない。

議員

そのような基準の中で振替が取れない職員は何人いるか。

総務部長

525人中、325人で61.9%の職員が取得できていない。

議員

振替が取れない状態を放置するのは問題である。休みか仕事か分からないような仕事をしていただのでは、能率が上がらない職員ははじめのなかで市民に奉仕するということではないのか。早急に改善していただきたい。

議員

今、ブラック自治体と言われ

総務部長

法人にはブラック企業と言われるものがあり、地方自治法では、地方公共団体は法人とすることとなっている。これを踏まえたうえで、その認識を伺う。